

第2回 宮城発これからの福祉を考える全国セミナー 参加申込書

団体名	都・道・府・県
団体責任者・連絡先(個人の場合は個人の連絡先)	
電話	fax
メールアドレス(個人の場合は個人のメールアドレス)	
所在地(個人の場合は自宅)	
〒	

【参加者一覧】

No.	参加者氏名	職名
1	フリガナ 氏名	
2		
3		
4		
5		

【質問記入欄, 団体PR記入欄】

【アクセス・交通案内】

太白区文化センター 楽楽楽ホール
住所: 仙台市太白区長町5-3-2
TEL: 022-304-2211

- ◆地下鉄でおいでの方
市営地下鉄南北線仙台駅から富沢行きで8分、長町駅で下車。南1番出口から直接建物の地下1階へ入れます。
- ◆JRでおいでの方
JR仙台駅から東北本線、常磐線または仙台空港アクセス線上り方面行きで4分、長町駅で下車。徒歩3分。
- ◆飛行機でおいでの方
仙台空港駅から仙台空港アクセス線下り方面行きで18分、長町駅で下車。徒歩3分。

公共の交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。



第2回 宮城発 これからの福祉を考える全国セミナー

10年後, 20年後を見据えた地域づくり
~支え合いの体制づくりを継続・発展させていくために~

日時: 平成30年1月26日(金) 10:20~16:50

会場: 仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール
(宮城県仙台市太白区長町5-3-2 ☎ 022-304-2211)

主催: 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議

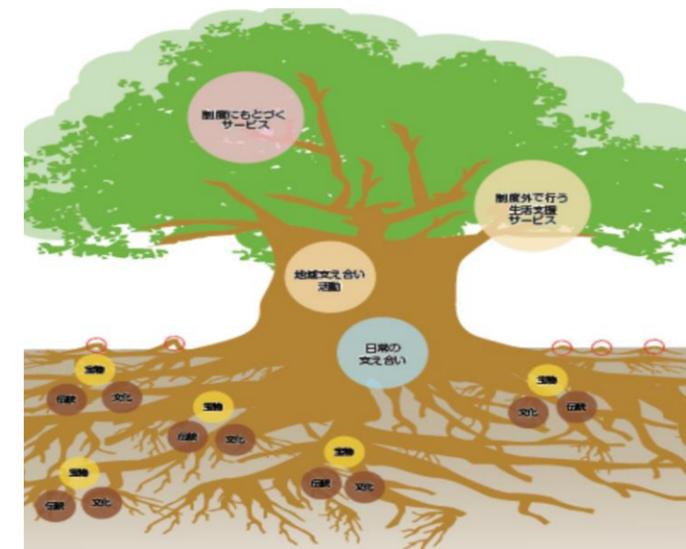
宮城県, 仙台市, 宮城県社会福祉協議会, 仙台市社会福祉協議会, セヶ浜町社会福祉協議会, 東北福祉大学, 仙台白百合女子大学, 東北こども福祉専門学院, 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター, 仙台市地域包括支援センター連絡協議会, 宮城県サポートセンター支援事務所, 公益財団法人さわやか福祉財団, 特定非営利活動法人移動サービスネットワークみやぎ, 食事サービスネットワーク・みやぎ, 宮城県民生委員児童委員協議会, 仙台市民生委員児童委員協議会, 公益財団法人宮城県老人クラブ連合会, 公益社団法人仙台市老人クラブ連合会, 仙台弁護士会, 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター, 特定非営利活動法人宮城県ケアマネジャー協会, 一般社団法人宮城県社会福祉士会, 宮城県商工会議所連合会, 宮城県商工会連合会, 公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会, 宮城県生活協同組合連合会, 宮城県農業協同組合中央会(JA宮城中央会), 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる, 特定非営利活動法人介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会

対象: 自治体関係者, 社会福祉協議会, 民生委員児童委員, 生協, 農協, 商工業者, NPO, 各種ボランティア, 自治会・町内会などの地域組織のリーダー, 被災者支援従事者, 地域包括支援センター職員, 生活支援コーディネーター, 関心のある全ての方

定員: 500名程度

参加費: 無料

事前申込: 必須
(詳細は見開きを参照)



第2回 宮城発これからの福祉を考える全国セミナー 10年後、20年後を見据えた地域づくり ～支え合いの体制づくりを継続・発展させていくために～

～趣 旨～

介護保険制度の改正に伴い、全国の市町村において、生活支援コーディネーターや協議体が配置・設置され、高齢者を含む住民同士の支え合いや地域づくりを進めるために、様々な形で「新しい総合事業」が展開されています。

宮城県では、東日本大震災からの復旧・復興を通して、地域のつながりや支え合いの重要性を再認識し、その経験から学んだ被災者支援のノウハウを新しい総合事業の推進に活かすため、市町村支援のプラットフォームとして、「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」を設置し、地域支え合いの体制づくりを推進しています。

本セミナーでは、宮城県のこれまでの取組を発信するとともに、10年後、20年後の将来をしっかり見据え、誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける支え合いの体制づくりを継続・発展させていくために、県内外の実践等から学び合い、今後の活動のあり方について考えます。



時間	内 容
9:30～10:20	受付
オープニング	
10:20～10:35 (15分)	開会・主催者あいさつ 宮城県 保健福祉部 部長 渡辺 達美 宮城県社会福祉協議会 会長 鈴木 隆一 基調報告 「地域支え合いを推進するための宮城県の役割（仮）」 宮城県 保健福祉部 長寿社会政策課 課長 成田 美子
【第1部】 被災者支援から地域づくりへ	
10:35～11:30 (55分)	【事例発表とディスカッション】 ～被災者支援から地域づくりへどのように展開されてきたのか～ ◆事例発表 気仙沼市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 鈴木 美紀 氏 亘理町 福祉課 高齢者支援班 副班長 條 泰彦 氏 ◆コメンテーター 宮城県サポートセンター支援事務所 所長 鈴木 守幸 氏 七ヶ浜町社会福祉協議会 福祉活動専門員 小野 哲 氏 宮城県 保健福祉部 社会福祉課 地域福祉推進班 班長 庄子 智広 氏 ◆コーディネーター 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一 氏
11:30～12:30	昼食・休憩 (60分)
【第2部】 10年後、20年後を見据えた地域づくり	
12:30～14:30 (120分)	【その1 県内市町村の取組】 ～県内35市町村、全部お見せします。市町村の取組をビデオで紹介！～ ◆コメンテーター 東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一 氏 仙台市地域包括支援センター連絡協議会 会長 折腹 実己子 氏 仙台市社会福祉協議会 事務局次長 高橋 健一 氏 公益財団法人さわやか福祉財団 さわやかインストラクター 渡辺 典子 氏 仙台市 健康福祉局 保険高齢部 高齢企画課 在宅支援係 係長 古城 雅子 氏 ◆サポーター 宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部 次長 西塚 国彦 氏 NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事 小野寺 知子 氏 宮城県 保健福祉部 長寿社会政策課 介護保険推進班 主査 二上 智行 氏 宮城県 保健福祉部 長寿社会政策課 介護保険推進班 主事 及川 明彦 氏
14:30～14:40	休憩 (10分)

時間	内 容
14:40～15:45 (65分)	【その2 事例紹介】 10年後、20年後を見据えた地域づくり ～支え合いの体制づくりを継続・発展させていくために～ ◆事例発表 岡山県 倉敷市 保健福祉局 参与兼保健福祉部長 吉田 昌司 氏 (前厚生労働省 老健局振興課 課長補佐) 高知県 佐川町社会福祉協議会 事務局長 田村 佳久 氏 ◆コメンテーター NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏 ◆コーディネーター 仙台白百合女子大学 人間学部 准教授 志水 田鶴子 氏
15:45～15:55	休憩 (10分)
【第3部】 地域づくりを支援する国・県の取組	
15:55～16:50 (55分)	【ディスカッション】 ～市町村を支援する県の役割と10年後、20年後を見据えた今後の展開について～ ◆パネラー 埼玉県 福祉部 地域包括ケア課 地域包括ケア担当 主幹 今井 隆元 氏 宮城県 保健福祉部 長寿社会政策課 介護保険推進班 班長 阿部 博敬 氏 ◆サポーター 厚生労働省 老健局振興課 地域包括ケア推進係 (生活支援サービス係・地域支援事業係) 三政 貴秀 氏 厚生労働省 東北厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課 課長 東 基幸 氏 ◆コーディネーター 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏 (宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会 委員長)
16:50	閉会

参加申込方法

- ・ 必要事項をご記入の上、平成30年1月10日(水)までに、fax またはEメールにてお申込み下さい(当日必着)。会場の都合により、定員になりしだい締め切らせて頂きます。
- ・ 個人で申し込まれる場合は団体名は不要です。その場合でも連絡先・参加者一覧はご記入ください。
- ・ 参加者欄が足りない場合は、参加申込書をコピーの上ご使用ください。
- ・ 詳細はホームページ (URL : http://www.miyagi-sfk.net/mutual_support) をご覧ください。

申し込み先

- ・ 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局 [担当 村上・荒井]
(宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部)
- ・ 連絡先 電話(022)266-2621 / fax(022)266-3953
- ・ Eメール g010@miyagi-sfk.net